

大和コンクリート工業株式会社

沖縄県うるま市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

社会的な責任を自覚し、品質重視、顧客優先、技術革新を基本に掲げ、会社の繁栄を通して、明るく豊かな職場を築く

- 近年の「ワークライフバランス」の重要性に取り組み職員の生活の向上
- 「わが社の礎ここにあり」、従業員の QC サークル活動による企業体質の強化
- データヘルス計画や「ひやみかち健康経営宣言」への登録を通じて従業員の健康を保つ

企業基本情報

所在地	沖縄県うるま市字昆布 1839 番地 1
電話 / FAX	098-972-3535 / 098-972-4212
U R L	www.yamato-con.co.jp/
代表者	代表取締役社長 豊里 友彦
設立	1960 年
資本金	40,000 万円
従業員数	35 人



会社概要

1960 年具志川村（現うるま市田場）に創設、1968 年には具志川市（現うるま市）昆布へ移転した。同社は、顧客満足度を向上させるべく、また、QC サークル活動を礎とし、一年一作の開発理念に基づき、新しい時代に遅れることなく積極的に新技術・新システムを導入し、顧客が満足を得られるような製品の製造販売、そして新製品の開発に邁進している。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

ワークライフバランスを重視した 7 時間労働

近年の「ワークライフバランス」の重要性が問われ、職員全員が快適かつ充実した生活が送れるように「連続休暇制度」を導入。更に 2016 年からは「7 時間労働」を実施した。全国的にも類を見ない 7 時間労働を試験的に導入したが、従業員間の助け合いや効率的な作業の追求、改善により 1 年間の運用に成功。2017 年度は、就業規則にも盛り込み、賃金体系も変化させることなく、「連続休暇制度」を年に 1 回活用、「7 時間労働」による充実した日常生活を送り、快適職場として働いている。



7 時間労働に取り組む

「我社の礎ここにあり」。QC サークル活動

1985 年より QC 活動を導入、今まで取り組んだテーマは、330 件以上を数える。QC 手法を用いた職場の改善活動によりスパイラス式にレベルアップを図り、QC 活動から TQM 活動へ発展し企業体質の強化を図っている。2003 年には、国際標準規格の ISO9001、2005 年に ISO14001 をコンサルタントを入れず認証取得。これも長年の QC 活動による成果である。また、職員への資格支援制度もとりいれ日々の自己研鑽に活用されている。



QC サークル活動

社員の健康を大切にす経営への取組

沖縄県の平均寿命は、全国都道府県で女性 3 位、男性に至っては 30 位となり、過去 30 年長寿県として親しまれた時代は過ぎ去った。近年では健康に関する情報が飛び交い、企業としても従業員の健康管理の重要性が問われている。そこで同社は昨年度からデータヘルス計画として、メタボリック症候群もしくは予備軍のメンバーの体重管理を実施している。また、沖縄労働局が推奨する「ひやみかち健康経営宣言」に登録、従業員の健康増進を実施している。



ひやみかち健康経営宣言